

新製品 紹介

人工炭酸泉/マイクロバブル泉混合製造装置 ミルキーソーダ「しの」

<株式会社 ショウエイ>

はじめに

温浴施設では、人工炭酸泉製造装置やマイクロバブル発生装置の導入が増えている。

これらの機器は、従来からあるジェットやバイブラマット・超音波風呂に加え、炭酸泉やマイクロバブル泉といった人工温泉としてアトラクション性の強いお風呂であるため施設の差別化がおこなえる。

本製品は、人工炭酸泉とマイクロバブル泉およびこれら2つの機能を有するミルキーソーダ（人工炭酸泉+マイクロバブル泉）の3種類の日替わり湯を選択することができ、これを1台の機器でおこなうため最小限の機器スペースで機械室へ設置することができる製品である。

1. 設置例

図1は、ミルキーソーダ「しの」のシステムフロー図を示したものである。設置するために必要な注意点としては以下に示す。

- (1) 機器専用の循環管路が必要である。
- (2) 浴槽に専用ノズルを数か所設置する必要がある。
- (3) 炭酸ガスボンベ/酸素ガスボンベが必要である。

また、本製品の人工温泉の製造方法は気液混合圧縮攪拌方式を採用しているため、目詰まりしにくい構造である。

制御方式は、ユニットに設置してあるタッチパネルによって操作することができ、週間タイマーによって曜日ごとに炭酸泉・マイクロバブル泉・ミルキーソーダ泉を選択することができる。

2. 炭酸泉・マイクロバブル泉を混合したミルキーソーダ泉の特徴

ミルキーソーダ泉は、炭酸泉の効果である身体への炭酸ガス吸収による血行促進や気泡の付着。また、マイクロバブル泉の効果である浴槽全体の白濁や毛穴の汚れの洗浄等の特徴を持ち合わせている。

図2は、それぞれの人工温泉の粒径存在比を比較したものである。左円グラフが炭酸泉およびマイクロバブル泉の粒径存在比で粒径3 μ m～50 μ mと

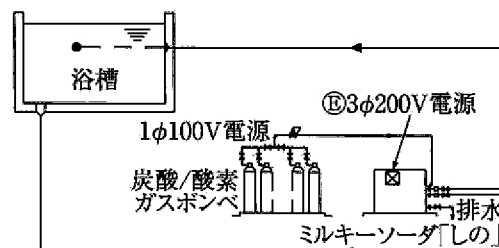


図1 システムフロー図

炭酸泉/炭酸泉 粒径存在比 ミルキーソーダ 粒径存在比

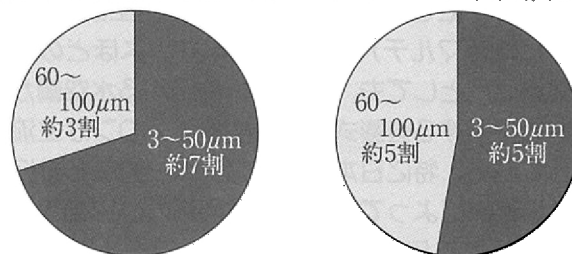


図2 人工温泉の粒径存在比

粒径60 μ m～100 μ mの比率が7対3であるのに対し、右円グラフのミルキーソーダ泉の粒径存在比は、5対5である。従って、炭酸泉やマイクロバブル泉より粒径60 μ m～100 μ mの比率が多く、水面への上昇速度が速いため水面で弾ける。この弾けた効果が肌へ刺激となり、炭酸泉やマイクロバブル泉とは異なる新しい人工温泉である。

3. 今後について

炭酸泉やマイクロバブル泉は、差別化や美容効果により広がりを見せている。しかし、同時に炭酸泉とマイクロバブル泉を導入することは設置スペースの問題等から難しいのが現状であり、これを1台でおこなえることは導入の幅が広がると思われる。また、炭酸泉の特徴の1つとして体感温度が高く感じられる効果により38～40℃の湯温で入浴するのが一般的である。このことは、入浴直後の血圧の上昇を抑え、体への負担を低減することができ、最近では介護老人保健施設への導入も多く、様々な業種で活用できる期待が持てる。

連絡先

開発部 山岸 祐太

TEL (044) 589-1601 FAX (044) 589-1602